

ひょうごユニバーサル社会づくり賞

「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」は、兵庫県内におけるユニバーサル社会をめざした先導的な実践活動を顕彰するものです。

知事賞

(敬称略)

部門	受賞者 (所在地等)	活動名・活動内容
個人部門	鈴木 凜太郎 (伊丹市)	鈴木凜太郎ピアノ演奏活動 生まれたときから重度の知的障害及びダウン症、右手欠損を有しているが、11歳頃より「両手で」ピアノを弾くようになった。これまでに海外4ヶ国及び日本各地での演奏活動を行っており、昨年は大阪・関西万博でも演奏した。演奏を通して、導いてくださった方たち、育ていただいた社会への感謝の気持ちを伝え、障害者への理解を促進し、ひとには誰にも豊かな可能性があること、それを実現できる自由で公平な社会のすばらしさを伝えることを目的に活動している。
	島本 昌浩 (宝塚市)	バリアフリーチャレンジ!～チャレンジに対するバリアのない世の中へ～ 2014年から自身の障害経験をもとに、「誰もがチャレンジしやすい社会」の実現を目指して情報発信活動を継続している。ブログや講演、動画配信等を通じて障害当事者や支援者、多様な立場の人々の声を社会に届けるとともに、活動する中で出会った仲間とチームを結成、幅広い視点による発信や交流の場づくり、他団体との連携にも取り組むなど、共生社会の実現に向けた理解促進とネットワーク形成に大きく貢献している。
団体部門	兵庫県立小野工業高等学校 課題研究グループとボランティア部 (小野市)	高校生地域出前修理・修繕 機械工学科で学んだ技術・技能を活かし、地域に貢献する活動に取り組んでいる。地域の方に、一人暮らしや高齢、身体的な理由により対応が難しい作業等を、町内会の回覧板で募集し、家の設備やゴミステーションの修理など、地域のお困りごとを生徒たちが修理し、地域の方々に笑顔になっていただいている。 また、この活動を通じて、生徒たちが社会としっかり関わり、思いやりの心が育つことも目的としている。

県議会議長賞

(敬称略)

	受賞者 (所在地等)	活動名・活動内容
個人部門	木下 晃希 (西宮市)	木下 晃希 絵画活動 自閉症、重度知的障害を持ちながらも、大好きな絵画を通して社会とつながり、社会への理解を深める活動をしている。活動を始めて10年経過し、日本全国に当事者、支援者の輪ができ、障害者アートの素晴らしさを発信しつつ、障がいを超えて現代アートの方とも交流し、障がいがあるなしにかかわらず、アートと楽しめる活動をしている。

団体部門	片山工房 (神戸市)	障害のある方の自己表現の場の提供および交流の推進
		身体・精神・知的障害の 30 名近い方が活動している。 その方のもっている能力を最大限に発揮できる方法をアートと捉え、障害者である前に一人の「人」として考え、本人の「やりたいこと」を「カタチ」にしていけるように取り組んでいる。公募展、企業等依頼展覧会、片山工房独自の展覧会など国内外で行い、片山工房の作品と作者の魅力の発信を行う。また、他施設職員・学生、他府県へ講演するなど、障害のある方の支援と共に芸術活動の可能性について普及活動を行っている。

ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議会長賞

(敬称略)

部門	受賞者 (所在地等)	活動名・活動内容
団体部門	社会福祉法人 姫路若葉福祉会 若葉福祉作業所 (姫路市)	地域共生「人・コト・モノ」をつなぐユニバーサルな活動 利用者一人ひとりの個性や適性を活かした創作活動、就労支援、菓子製造・販売など多様な活動を展開するとともに、作品展や地域イベントへの参加、学校との交流、他事業所との協働商品開発などを通じて、地域とのつながりづくりに積極的に取り組んでいる。また、多世代が集う「ぬくもり食堂」の運営や農福連携にも挑戦し、誰もが安心して交流できる地域の居場所づくりを推進している。利用者の自己実現と社会参加を支えながら、地域全体で支え合う共生社会の実現に大きく貢献している。
	すもと高齢社会をよくする会(グループす・こ・や・か) (洲本市)	すもと高齢社会をよくする活動 発足当時、洲本市は国や県に比べて高齢化が進んでおり、老人保健法や介護保険などの制度もまだ整備されていない中、在宅サービスがほとんどなく、さまざまな問題が顕在化していた。こうした状況を踏まえ、介護を要する人が住みやすい地域は、誰もが安心して暮らしやすい地域ととらえた。そして、高齢障がい者のみならず、障がい者や弱者や妊婦など、すべての人が暮らしやすいユニバーサルな地域社会を実現する仕組みが必要と考え、会の目的に賛同する方々とともに、30 年以上にわたり活動を継続している。
	一般社団法人 SSKT (丹波篠山市)	動けば、つながる。笑えば、ひろがる。～ひとりの支援から、みんなで育てる地域～ 本活動は、運動発達支援を通じて、障がいの有無や年齢に関わらず、誰もが身体を動かす楽しさを感じ、地域の中でつながり合えるユニバーサル社会づくりに取り組んでいる。 運動発達の専門的な理論や実践的なノウハウを代表個人に留めることなく、チーム全体で共有し、親子教室や障がい児支援、パラスポーツ支援など様々な活動を通じて地域に広げている。その取組により、誰もが参加しやすく、互いを認め合える社会づくりに貢献している。

審査員特別賞

(敬称略)

部門	受賞者 (所在地等)	活動名・活動内容
団体部門	社会福祉法人さつき福祉会 琴弾の丘 (養父市)	養父市カベトレプロジェクト(養父市提案型協働事業)
		令和6年4月の全ての事業所の合理的配慮提供義務化に合わせて、令和6年4月から社会のカベを取り除くトレーニングである「養父市カベトレプロジェクト」を開始した。市内での合理的配慮の認知度向上を目的に研修会の開催やパンフレットを作成・啓発を行い、誰もが暮らしやすい町づくりに取り組んでいる。